



実 員  
田原 議 員  
子どもたちの通学路の確保は

通学路の除雪や防犯など安全確保は

質 問

昨年は、市街地で迅速な除雪ができず通学児童の安全確保に問題があったが、今冬の除雪対応について伺う。

また、糸魚川東小学校近隣で計画されている商業施設について工事中やオープン後の通学路の安全対策について伺う。

市長答弁

昨年度は、例年にならない異常な降雪で、交通の確保に一部支障が生じたものと把握して



一 員  
藤 議 員  
防災力の強化が必要では

地域防災力の推進は

質 問

災害発生時には、普段から地域住民の自主的な予防活動による防災力の強化が必要であるが、今年度の防災訓練での成果や反省点はあるか。

また、防災意識の普及啓発、防災リーダー育成状況や災害時要援護者の登録及び避難支援体制の状況について伺う。

市長答弁

今年の防災訓練は、根知地区を会場に実地訓練を実施した。

いる。

今冬は、大雪の際は危険と思われる箇所を避けての迂回や危険箇所付近寄りしないよう児童生徒への指導を徹底していく。

また、糸魚川東小学校周辺の安全対策は、地元区長やPTAなどから、信号機の設定要望を受けており、糸魚川警察署に要望していく。

糸魚川駅及び駅周辺整備は

質 問

公表された新幹線駅舎デザ

避難体制や避難方法の再確認と、実地訓練の見学により、住民の防災意識の高揚に大いに効果があったと考えている。

反省点は集約中だが、結果は今後の訓練につなげたい。防災意識の普及啓発などとして、出前講座とともに、防災フェスタや子どもを対象とした避難所生活体験、火山防災講演会を開催している。22年5月には洪水・津波ハザードマップを全戸配布し、年度末には、地震防災マップも同様に配布予定である。

インの発するメッセージの意味、景観や市民への影響とジオツアーに貢献する駅前周辺整備について伺う。

また、橋上駅、自由通路等事業費の精査と投資効果は。

市長答弁

公表されたデザインは他駅と同様に市として日本海、北アルプス、ヒスイをシンボルとした糸魚川らしさと、街並みとの調和等を要望し、それをもとに鉄道・運輸機構から提案がされたものである。

また、駅周辺整備では、県道糸魚川停車場線の電線の地

防災リーダー育成として、研修会を年明けに実施する。

また、災害時要援護者の登録については、4月1日現在の対象者は約5,200人で、うち登録者は3,402人、登録率は約65%であり毎年更新したものを自治会などに情報提供し支援計画作成や体制整備をお願いしている。

中化や駅前アーケードの改修事業が計画されており、駅周辺の一体感が創出されるよう、関係者と調整を進めている。

また、現在の整備事業費は、JR西日本が積算した概算事業費であり、今後、詳細設計や施工の中でできるだけ削減していきたい。

《その他質問項目》

・環境教育、環境学習への具体的な取り組み

